

会社概要

【その他サービス】

株式会社Lin



社員数 95名

住所（大阪オフィス） 大阪府大阪市中央区博労町3-2-4

資本金 1,000万円

URL <https://www.lin.co.jp/page/70>

雇用状況

外国人採用を始めた時期 2018年

外国人社員の人数 10名

外国人社員の国籍 インド、台湾、中国、ベトナム、香港、ミャンマー

主な職務内容 海外営業、国内営業、商品管理、物流全般、生産管理、海外向けライブ配信*

*：海外の顧客に向けて、SNSや配信プラットフォームを通じて商品を紹介・販売するライブ配信業務

MEET IN OSAKA 採用応募

◎ 活用したこと

- ・対面合同企業説明会（国内）、オンライン合同企業説明会（国内）
- ・オンライン人材マッチングシステム

◎ 工夫した点、良かった点など

- ・合同企業説明会を通じて、多様な外国人材と直接出会う機会を得ることができた。幅広い人材と接点を持つことで、自社の採用活動の可能性を広げることがつながった。
- ・対面で外国人材と直接話ができるため、履歴書だけでは分からない人柄やコミュニケーション力、日本語運用能力をその場で確認することができた。自社に合う人材を見極めるうえで有効な機会となった。

働く外国人材にインタビュー！

答えてくれた方：T.S.さん ※本人希望により氏名・顔写真は非公開としています

出身国：中国 入社時期：2025年10月1日



商品管理から海外営業まで一部署を越えて広がる私の挑戦

Q：現在の仕事と入社を決めた理由を教えてください

A：現在は商品管理部で、在庫管理や入荷対応、ピッキング業務、生産依頼などを担当しています。商品が不足しないよう全体の在庫状況を把握しながら管理することが主な役割です。また、海外向けライブ配信に関わる商品の準備など、海外営業に関連する業務にも携わっています。複数の部署と連携しながら仕事を進めるため、コミュニケーションの大切さを日々実感しています。入社を決めた理由は、自分のこれまでの学びと仕事が合っていると感じたからです。中国の大学では企業経営や組織運営などの管理分野を学び、日本では芸術やデザインに関する分野を学びました。天然石やアクセサリなどデザイン性のある商品を扱っている点にも魅力を感じました。また、職場の雰囲気が良く、国籍に関係なく働ける環境であることも大きな決め手になりました。

Q：大阪を選んだ理由と、日本で働く魅力を教えてください

A：神戸・大阪エリアは住みやすく、街の雰囲気が自分に合っていると感じました。海や山が近く、落ち着きとにぎやかさの両方がある点も魅力だと思います。日本で働く魅力は、安心して生活できる環境が整っていることです。社会保障制度が充実しており、会社も保険などをきちんと整備しています。仕事に対して真面目に取り組む文化があり、責任を持って働く姿勢が根付いているため、自分自身も成長できると感じています。

Q：仕事のやりがいや難しさを教えてください

A：さまざまな部署と関わりながら仕事ができる点にやりがいを感じています。商品の流れや販売の仕組みを理解できるため、日々学びがあり、きれいな天然石や新しい商品に触れられることも楽しさのひとつです。一方で、石の種類や専門用語を覚えることは簡単ではありません。日本語の微妙な表現や専門的な言葉もまだ難しいと感じることがあり、日々勉強を続けています。

Q：長く活躍するために大切と思うことを教えてください

A：大切なのは、好奇心を持ち続けることだと思います。仕事に慣れてきても、新しいことを学ぶ姿勢が重要だと感じています。また、周囲とのコミュニケーションもとても大切です。分からないことは素直に質問し、少しずつできることを増やすことで成長につながると思います。さらに、日本語を継続して学ぶことも重要だと感じています。日本語力が高まることで、仕事の内容をより正確に理解できるようになり、周囲とのコミュニケーションも円滑になると感じています。こうした努力を続けることが、長く働くためのポイントだと思います。

Q：日本・大阪での就職を希望している外国人材の皆さんにメッセージをお願いします

A：最初は言葉や生活面で不安を感じることもあると思いますが、少しずつ慣れていけば必ず前向きに生活できるようになります。日本では努力する人をしっかり評価してくれる環境があります。日本語の勉強を続けながら、自分の強みを活かせる仕事を探してほしいと思います。新しい環境への挑戦は、自分の可能性を広げる大きなチャンスになると思います。

Q：最後に、企業の皆様にも一言お願いします

A：外国人を特別扱いするのではなく、一人の社員として向き合ってくただけると、とても働きやすいと感じます。意見を聞いてもらえる環境があることで、「より貢献したい」という気持ちが強くなります。お互いを尊重し合う姿勢があれば、より良い職場づくりにつながると思います。

ココがポイント

人事のプロが見た「外国人採用で工夫していること」

採用	活躍（能力発揮・成長支援）	定着（キャリア形成・組織への定着）
<p>事業成長を見据え、戦略的に採用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人採用を人手不足対策ではなく、海外に向けた情報発信を強化するための戦略として位置づけている。 海外営業やライブ配信などを行う部署では、語学力と文化理解を持つ人材を積極的に採用している。 特に中国語圏を中心とした市場拡大を見据え、事業成長を前提とした採用計画を進めている。 	<p>多言語力と文化理解の素養が活躍のカギ</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外市場との接点が大い海外営業やライブ配信の現場には、現地の視点を持つ外国人社員を積極的に配置している。 特にライブ配信では、ネイティブ言語によるリアルタイムの対応が顧客満足度や売上向上に直結している。 語学力に加え、文化背景や現地の感覚を踏まえた提案や発信ができる人材が活躍し、事業の中核的な役割を担っている。 	<p>フラットな職場文化を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人だからといって特別扱いはせず、日本人社員と同じ仲間として受け入れ、役職や国籍に関係なく意見が言いやすいフラットな職場環境を整えている。国籍を意識せず自然に協力し合える風土があり、外国人社員が孤立しないことが定着につながっている。 日常的なコミュニケーションも活発で、気兼ねなく意見を言える環境が心理的な安心につながっている。
<p>国籍ではなく能力を軸に人物を見極めて採用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 国籍にとらわれず、能力を基準に「一人の人材」として適性を見極めて採用している。 MEET IN OSAKAの対面・オンライン双方の合同企業説明会を活用し、人物像やコミュニケーション力を直接確認しながら採用判断を行っている。 在留資格は専門家と連携しながら確認し、「技術・人文知識・国際業務」を中心に適切な手続きを行って取得している。 	<p>部署横断の業務経験を通じて成長機会を広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品管理、物流、生産管理、海外営業、店舗販売など、能力や適性に応じて幅広い業務を経験できる環境を整えている。 一つの部門に限定せず、複数部署と連携しながら業務を進める経験を積ませることで、事業全体の流れを理解できる人材へ育成している。 今後は、成果に応じた評価制度を強化し、実力を正当に評価し、より責任ある役割を担える体制づくりを進めている。 	<p>継続的なフォロー体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> 入社後は一定期間の研修を実施し、その後も業務状況に応じて継続的にフォローを行っている。 相談先が分からず困ることがないよう、悩みや不安がある場合には担当者がヒアリングを行う体制を整えている。 業務面のサポートだけでなく、生活面の情報共有や社員同士の支え合いもあり、海外から来た社員が安心して長く働ける基盤づくりを進めている。

経営者・人事インタビュー

答えてくれた方：開発部 部長 倉田さん、総務部 課長 植松さん

国籍に関係なく力を発揮できる職場づくり

Q：外国人採用で大切にしていることを教えてください

A：私たちが大切にしているのは、“外国人だから”という枠で考えないことです。国籍ではなく、能力と適性を見るという姿勢を徹底しています。能力があれば国籍に関係なく採用する、当社ではそれが自然な考え方です。

当社は海外営業やライブ配信など、海外市場と直接つながる事業を展開しています。そのため、語学力や文化理解を持つ人材は、事業の中核を担う存在です。人手不足を補うためではなく、事業を成長させるための戦略として外国人採用を行っています。

また、特別な制度を設けるのではなく、日本人社員と同じ環境で働けるフラットな職場づくりを大切にしています。結果として、国籍を意識せず自然に協力し合える文化が根づいています。



倉田さん

Q：外国人採用をしている・これからしようとする企業にメッセージをお願いします

A：外国人採用は、決して“特別な取り組み”ではないと考えています。大切なのは、外国人をどう扱うかではなく、「その人がどんな強みを持っているのか」を見ることです。語学や文化の違いに不安を感じる企業もあるかもしれませんが、多様な人材が加わることで、新しい視点や発想が生まれ、事業の可能性は大きく広がります。当社が海外発信を強化できたのも、外国人社員の存在があったからこそです。



植松さん

まずは直接会って話をしてみることが重要だと思います。人物を知り、能力を見極めることから始めれば、外国人採用は企業にとって大きな力になると感じています。